

大名美恵子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2
電話・FAX 029-284-0761
E-mail toukai@oona-mieko.info

県議選では東海第二原発の再稼働問題が大争点！ 争点隠しに徹する態度は、住民に何と説明しているのか



東海第二原発が、危険性を押し切って再稼働してしまうのかどうか、本当に多くの国民が心配しています。

那珂市の海野徹市長は、改めてマスコミを通じて「再稼働には反対」と国内に明言しました。その行動の背景には、「首長として住民の『再稼働反対』の気持ちに寄り添うこと」「実効性を伴ったの避難は不可能であること」「東海第二原発の安全の保障はないこと」が挙げられていたように記憶します。

一方、東海村の山田修村長は、現職県議の県政報告会で自民党の国会議員らと共に「連携」をテーマに熱く語るとのことです。同日、押延自治会では「ミニ敬老会」が開かれますが、村の敬老会を廃止した村長は、同時刻に原発推進を語るのでしょうか。

県議選で3選を狙う現職の下路健次郎氏は、東海第二原発について何と言っているか… 村内に配布されている宣伝物より

公約⑥で、不安が安心に変わるよう、「東海第二発電所」の安全性をしっかりと確保します。と、記述されています。規制委員会でさえ「新基準に適合したとしても安全の保障ではない」と言っているのに、一現職県議が「安全性を確保する」とは、いったい何をするというのでしょうか。安倍政権が「世界最高水準の規制基準」と言い、第5次エネルギー基本計画で今後東海第二を含めた既存、建設中（東通）合わせて国内の38基すべての原発を稼働させようとしていることをそのまま容認した考え方です。住民の気持ちとかけ離れているとしか言いようがありません。2期8年の実績は特に見当たりません。県議会議場で住民の気持ちとは別に、ひたすら原発推進に関する暴言を吐いてきたことが印象的です。